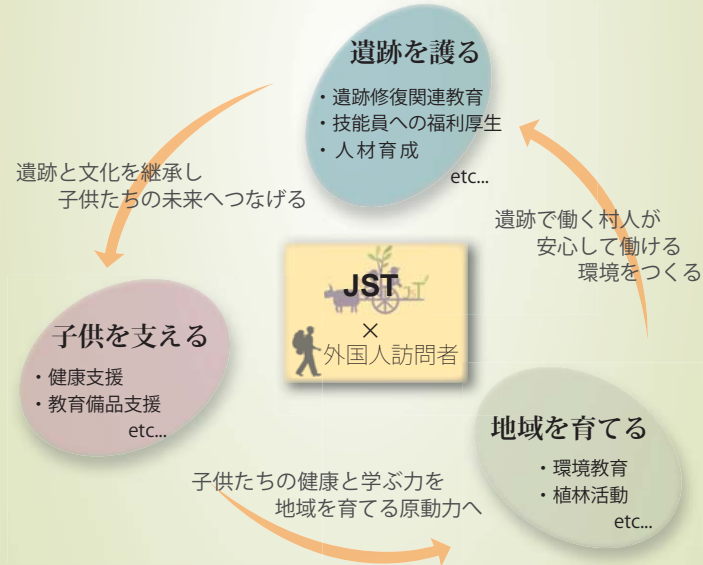


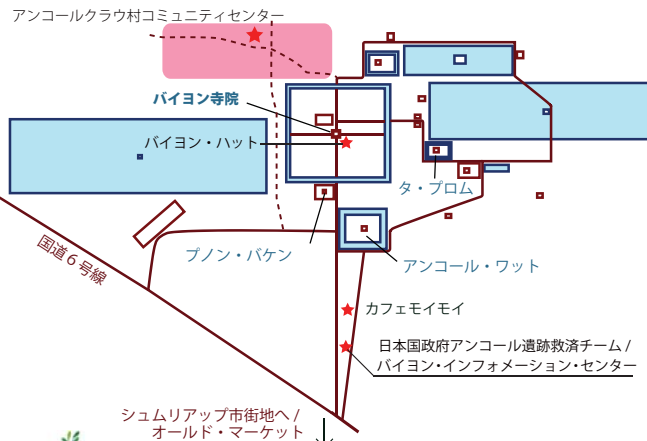


JSTは
遺跡周辺に暮らす
村の人々と共に活動しています

はじまりは1994年。
アンコール遺跡修復事業に派遣された日本人専門家と、作業現場で働くアン
コールクラウ村作業員との、村ぐるみの交流がきっかけでした。
そして、2005年にローカルNGOとしてJSTが誕生。
カンボジアの歴史・風土に魅せられた外国人訪問者を巻き込んで、遺跡と、
遺跡で働く村人と、遺跡を訪れる外国人訪問者、すべての人々が集える
"場"として、JSTが存在できれば、と思っています。



アンコールクラウ村 周辺地図



JST 連絡先

JST HP : <http://www.jst-cambodia.net>

Email : info@jst-cambodia.net

▼ JST メインオフィス

住所 : Group 4, Phum Tropeang Ses, Khum Kokchork,
Srok Siem Reap, Kingdom of Cambodia

代表 : チア・ノル / Chea Nol

担当 : 小出 陽子 Yoko Koide / 吉川 舞 Mai Yoshikawa

▼ JST 日本窓口 (早稲田大学理工学部建築学科中川研究室)

住所 : 〒169-8555

東京都新宿区大久保3-4-1 55号館N棟8階10A

TEL/FAX : 03-5286-3144

■ JST 会員随時募集中です!

ご入会いただける方は、JST ホームページより申し込みフォームに
ご記入の上、Email または FAX にて上記連絡先までお送りください。

※年会費のお振り込み方法は裏面をご参照ください!

個人会員 : US \$50 又は ¥5000

JST にご協力くださる団体・企業の方も大歓迎!

■ インターン・ボランティアで参加する

JST は短期・長期インターンを受入中。関心のある方は Email を!



× JST への支援グループ

特別協力 : 日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA)

アンコールやまなみファンド

NPO 法人 オアシス

紀南ユネスコ協会

幸田サーキット YRP 桐山

(一財) 国際開発センター (IDCJ)

自立のための道具の会

聖心女子学院

KDDI 株式会社

富山ライオンズクラブ

田辺市国際交流協会 (TIES)

東京新橋ロータリークラブ

東京レインボーロータリークラブ

常滑ロータリークラブ

(株) 三田商会

はじめ塾

リサイクルの会

(株) タイワ精機

ローターアクト (愛知)

Cafe Moi Moi

2012年6月
活動のご案内

JST

アンコール遺跡の保全と
周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構



Joint Support Team
for Angkor Preservation and Community Development



遺跡を護る

古代の知恵や技術、それらを護る人々のことを伝えたい。JSTでは遺跡やその修復に関する広報活動、カンボジアの子供たちに向けた教育事業に力を入れています。

カンボジアの子供たちの社会見学会



年間 200 万人以上の海外観光客が訪れるアンコール遺跡群。しかしカンボジアの青少年は遺跡に触れる機会がほとんどありません。JSTが実施する「カンボジアの子どもたちのための社会見学会」はカンボジア人の遺跡修復の専門家が古代の技術や修復の理念を子どもたちに伝えます。遺跡を未来に繋いでゆくために、社会見学会を応援してくれる方を募集しています！

「バイオンハット」オープン！

アンコール・トムを中心、バイオン寺院にある、情報発信の拠点・バイオンハットが新しくなりました！バイオンを舞台に日々進められていく最新の調査研究の紹介に加え、古代の遺跡建造の道具や技術を再現。遺跡を訪れる様々な国の方に実際に触って、体験していただけます。歴史の流れを紹介する〈バイオン・インフォメーション・センター〉と併せて訪れば遺跡の魅力がさらに深まるはず！



新しい遺跡修復体験ツアーも実施しています。

外国人訪問客への遺跡修復体験ツアー

2011年は1000人以上の方がJSTのツアーに参加。修復現場やアンコールクラウ村など、一歩踏み込んだカンボジアを紹介しています。夏休みの学生インターン制度もスタート。みなさんが興味を持つこと、知ること、訪れることが地域や遺跡の力になります。JSTのツアーに参加してみませんか？！

社会見学基金

「カンボジアの子供たちのための社会見学会」を応援しませんか？
生徒一人当たりの参加費 \$10 3人分 (\$30) から

雑炊基金

クラウ村の子供たちの健康・栄養改善を応援しませんか？
雑炊の実施費用 (\$1/子供1人) 30人分 (\$30)
※一度に100人分の栄養たっぷりのカレーや雑炊を用意します！

子供を支える

アンコールクラウ村での教育活動を通じて、村の人々の意識も大きく変化しつつあります。2011年はさらに遠方地域の村の子供たちに向けた活動も開始しました。

村の子供たちへの健康支援

「アンコールクラウ村給食事業」がますます充実してきました！雑炊用のかまどをつくり、村では野菜栽培を始めています。魚の養殖事業も計画中。村の子供たちも、ただ食べさせてもらうだけでなく、家からお米や薪を持って



てくるなど、自立の精神が芽生えてきました。

そこでJSTでは、町からさらに離れた村の子供たちを対象にした「移動式給食プロジェクト」を始めました。村の青年たちがリヤカーで機材と食材を運び、肉や野菜がたっぷり入った雑炊をつくります。子供たちもお腹いっぱいにご飯を食べられて大喜び。

子供たちの元気が村の活力になります！

教育施設への備品支援



日本の皆さんから送られてきた中古パソコン、ランドセル、文具、ユニフォーム、体育館シューズなどを、JSTでは村の小学校などに配布しています。これらの備品はカンボジアの子供たちに大切に使われています。

あなたのチカラをカンボジアの未来へ

植林基金

「アンコールの森」に苗木を植えてみませんか？
苗木1本 (3年間のメンテナンス込) \$10:3本 (\$30) から

年会費、基金のお振り込みは下記の口座をご利用頂けます。

ゆうちょ銀行 名義；ジェイアンドエスエーシー
普通預金 口座；記号 10010 番号 97367631
(他行より； 店番〇〇八 口座番号 9736763)

地域を育てる

アンコールクラウ村から始まったJSTの農村支援活動の輪が着実に広がっています。インフラ整備から、教育支援、青年育成へと、包括的に地域の未来を考える基盤が整いつつあります。

「アンコールの森」再生プロジェクト



これまではアンコールクラウ村を中心に植林活動を行ってきた「アンコールの森」再生プロジェクト。今では、村の青年たちが近郊の村の小学校を訪問し、環境保護や衛生などについて、生徒たちに指導を行う環境教育へ発展。今までゴミが散らばっていた学校で、ゴミ箱を設け、当番で掃除をするなど、見違えるほど大きな変化があります。また、地域の実態を同時に調査することにより、カンボジアの農村部がかかえる

さまざまな問題点が見えてきました。これらの問題の解決に向けて協力することも、JSTの今後の課題であると考えています。

クラウ村青年グループの成長

アンコールの森再生プロジェクトの中核を担うクラウ村青年グループの活動が、シェムリアップ州の教育機関でも高く評価されました。小学校での環境教育に加え、スタディツアーやインターン学生との交流の中で、村の未来を支える人材として、外の世界と村を繋ぐ存在として、着実に成長しつつあります。



環境教育の輪を広げよう！

シェムリアップ州教員養成校の環境整備を行っています。苗木センターをつくり、学生たちと一緒に植樹活動を行うことによって、これからカンボジア全土に散らばっていく教師の卵たちに、カンボジアの未来を託しています。

JST オリジナルツアーで応援する

JSTではカンボジアの遺跡群と農村のことをもっと知ってもらうため、JSTオリジナルツアー企画を実施しています。保存修復の専門家による遺跡修復現場のご案内や、アンコール・クラウ村での農村体験、村の子供たち、青年たちとの交流など、一般のツアーとは「ひと味違う」カンボジア体験が一番の魅力です。ツアー代金の一部に村や遺跡への支援が含まれています。旅を楽しみながら、村や修復を応援しませんか？
ツアーの詳細はHPまたはFacebookで！